

2018年4月度定例理事会議事録 ー速報ー

2018年4月16日(月) 19時00分 スター貸会議室四谷第一会議室

出席理事： 田井、木内、生木、菊地(俊)、草深、小賀坂、小宮山、坂、笹畑、高橋、竹井、寺島、櫛本、野村、橋本、宮田、檜垣、小倉(監事) 以上17名

委任状： 西谷、村岡(理事長に委任)、菅家(宮田理事に委任)、屋代、柳原(菊地理事に委任)、島田(小宮山理事に委任) 以上6通

欠席理事： 菊池(誠)、高松、細田、鹿住(監事)

会社役員会： 井口 事務局： 雪、篠本 書記： 坂倉

議長： 田井理事長

出席理事16名(19時00分現在)委任状6通をもって4月度理事会は成立。

1. イベント委員会(菊地委員長)

開場記念祭について

- ・ 午前組の参加者を増やすために朝食の無料提供、バターコンテスト1回無料、マッサージ施術、コミュニティ訪問・体験等の特典を用意した。
- ・ パブリシティを依頼。ゴルフ雑誌2社の記者に午前のプレーと午後の特典体験を経て記事を起こしてもらおう予定。
- ・ 賞品の協賛を広くメンバーに依頼する。

4月21日開催のスコティッシュデー(ヒッコリーゴルフ・エクスペリエンス)について  
現在14~5人の申し込みがある。当日はコース内でアフタヌーンティーや音楽の提供がある。午後のある時間帯に1番ホールをパー6でプレーする予定。古き良き時代の雰囲気を楽しみながら、多くの方にイベントに参加してほしい。

2. 競技委員会委員会(竹井委員長)

- ・ 本年度関東倶楽部対抗戦出場選手(男女)の紹介。テント設営や食事の準備等をクラブ側に毎年提供してもらっており、感謝している。それに応えるべく選手は全力を尽くす。メンバーの応援も力になるので、多くのメンバーの参加を希望する。
- ・ 月例競技会年間ポイントランキングの現状報告。5月の日曜月例終了後、2017-2018年度のチャンピオンが決まる。
- ・ 収益強化のための取り組みの一環として、月例の賞品を外部から購入するバカラからブリック販売のボールに4月の日曜月例から変更した。各組1位の人はボールをバカラに変更する権利を有するが、ある程度はクラブの収益に貢献できると考える。

3. 広報委員会(宮田委員長)

カートのコース内乗り入れについて

- ・ コース内に黒い杭が穿たれており、プレーに支障をきたす可能性がある。これは2

人乗りカートがコースに乗り入れる入口と出口とのことだが、乗り入れの試行はいつからなのか。→入口と出口を明確にするために杭を埋めたが、邪魔にならないように変更する予定である。乗り入れ試行は希望者から申し出次第始める。

- ・ 試行実施の期限があるのか。→具体的には決まっていないが、今後検討する。
- ・ 対象者は誰なのか。→現状 2 人乗りカートを所有するメンバーなので、コミュニティの居住者ということになる。試行結果次第だが、将来的には自分で 2 人乗りカートを購入する方のカートを預かる、あるいは BWC で 2 人乗りカートを購入し、高齢者等のメンバーが利用できるようなことも考えられる。
- ・ コースコンディションによる乗り入れの可否は誰が決定するのか。→グリーンキーパーの権限で行う。
- ・ メンバーに告知はないのか。→既に 2 月の広報委員会のメールマガジン、営業報告のメールで実施しているが改めて行う必要があれば行う。
- ・ 広報委員会は運用ルールの開示を求めた。また、試行期間終了後、乗用カートのコース内乗り入れ可否について理事会において協議し、決議することを求めた。高齢化対策は重要だが、カートの乗り入れはコースを傷める危険性があり、メンバーの利益に沿うものなのかを検証すべきとの理由から。

これに関連し、理事から下記のような意見が出された。

- ・ 乗り入れの際のルールを知らせてもらいたい。
- ・ 試行である以上期限を明確にすべきである。
- ・ 乗り入れを見たビジターが 4 人乗りカートでコース内に入ることがないように対応すべきである→乗り入れカートにはフラグを立てるが、マスター室のところに貼り紙をする等も行う。→以上をふまえ、役員会で試行期間を決定し、試行後はその状況(メリット・デメリット)を整理し、理事会でも報告の上、本格的に実施する際はその了解を得ることとした。

#### 4. ジュニア委員会(橋本委員長)

- ・ 春の合宿について
- ・ 第 2 回ジュニア杯について
- ・ 開場記念祭ジュニアプログラムについて
- ・ PGA ジュニアリーグについて 5 月のメディア発表後、詳細を聞くことにする。

#### 5. フェローシップ委員会(小宮山委員長)

禁煙について。法に則って屋内は禁煙にするべきと思われるが、喫煙場所をどこにするかが検討課題。コース内に吸殻を多く見かける。喫煙者はティーグラウンド(コース内の指定された喫煙場所)で喫煙後は設置の灰皿あるいはカートに備え付けの灰皿に吸殻を捨てることを徹底してほしい。

#### 6. 営業報告(事務局 雪副支配人)

- ・ 3 月の売上実績は 2,381 万円で計画比 194 万円のマイナス、前年比 212 万円のプラ

スであった。来場者数は2,450名で前年比232名増であった。4月の売上実績(4月15日現在)は1,106万円で前年比35万円のマイナス、来場者数は1,124名で前年比120名増であった。3月は21日(春分の日)が荒天でクローズとなり、4月も15日(日)の月例がアクアライン通行止めのため中止になった。3月末の当期累計は15,717万円で計画比1,131万円のマイナス、前年比538万円のプラス、来場者数は15,276名で前年比390名増であった。

- ・ コジロー会員3月の入会は普通会員、家族会員とも0で、4月(4月15日現在)は普通会員1名であった。3月末の当期累計は普通会員15名、家族会員4口8名、計19口23名であった。
- ・ 会員入退会状況については、3月の入会が2口3名、退会は0、4月(4月15日現在)は入会、退会とも0であった。3月末までの当期累計は入会会員15口22名、退会会員は15口22名(内稼動中5口7名)であった。入会会員のうち13名は住宅購入者で、他にジュニア会員が9名入会した。
- ・ 平日組売り3月はメンバー、ゲスト・ビジター、インターネットサイト利用者(M・GV・N)87組347名(M35名、GV257名、N55名)、4月(4月15日現在)は44組170名(M20名、GV84名、N66名)であった。3月末当期累計は676組2,685名の利用があった。
- ・ 理事より、ジュニア委員会で設営したキッズティーを特設ティーと間違えている人がいるので、キッズティーの形状を変えるなどの工夫をしてほしい。→ジュニア委員会で検討する。
- ・ 理事より、ゲストがナビを使ってゴルフ場に来る際、コミュニティに案内されてしまう事例がある。→メンバーが事前に十分な情報をゲストに示すことが求められるが、コミュニティ入口にゴルフ場の入口の場所を示す看板の設置を検討する。

#### 7. 収益強化対策について(樺本取締役)

各委員会で論議いただき、個別にもご意見をいただいた。それらをふまえて、今の収益状況をベースに「理想・中間・悲観」の3つのシナリオを作ったが、8年間で3.5億円の債務を完済するには、理想と中間の間くらいの収益が必要である。特別年会費をお願いした当時は「入場者3万人で売上4億円、年に40口程度の新入会員」をみんなで目指すということを話したが、残念ながらこれに届いていない。今期は前期よりも入場者が増えているが、前々期には届いていない。募集に関しては通期で30口を目指せるペースにはなってきた。今の状況では年間で2千万円から3千万円の底上げが必要と考えている。

- ・ 2年前に特別年会費を徴収したばかりなのに、再度の値上げは容認できないという声がある。→特別年会費については、当初80万円という案で、これが600口なら概ね5億円の債務が解消されるということを考えてが、さすがに負担が大きいということで40万円で決着した。また、10年後返済の追加保証金②を設けたことで

前期 3.5 億の債務が残ることになった。コジローに対する債務を残り 8 年で返済することが大前提であるが、収益が上がらない、また新会員の入会が進まない現状、メンバーに公平な負担をお願いする方策として、年会費、プレーフィアの値上げ等を検討したい。

- ・ 心理的負担の少ない、受け入れやすい施策を検討すべき。→フードクーポンを廃止して実質的にプレーフィアを値上げする、あるいはドリンククーポン等の小額クーポンに変更してはどうか。
- ・ C コースと克蘭フレンドのプレーフィアを検討すべき。克蘭フレンドの年会費というのは考えられないか。→もともと克蘭フレンドの料金は課題として認識しているが、いずれネットの集客と入れ替わることを期待しており、こうした観点で拡充に重点を置いてきた。メンバーの料金改定ということになれば何らかの改定は必要になる。
- ・ 名義変更料は若い世代に代替わりすることを促進するため、期限付きで引き下げられたが、これを元に戻してはどうか。→現状暫定措置であることから役員会で検討する。
- ・ 売上の上乗せを図るだけでなく、経費節減を進めてはどうか。→可能な限り経費の節減を進めているが、ゴルフ場として最も重要なゴルフ場の整備や老朽化が目立つ建物施設の改良費用は削減することができず、また昨今の人手不足から人件費の高騰は避けることができない。
- ・ ジュニア親族会員の特典をメンバーに知らせ、ジュニア親族会員の増加を図るべきでは。
- ・ 来場者数を減らさない施策を検討すべき。

理事会としては、年会費か利用料金あるいはその双方か、何らかの形で収益の改善に手を打つということで合意した。5 月理事会の前に経営特別委員会を行い、そこで案を作り、理事会決定する必要がある。

次回理事会は 2018 年 5 月 14 日(月)19 時 00 分より 場所未定 議長は田井理事長